

Title	日本田制史及び其の著者横山由清(三)
Sub Title	
Author	加藤, 繁(Kato, Shigeshi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.1 (1927. 3) ,p.108- 108
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19270300-0108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日本田制史及び其の著者横山由清 (三)

加藤 繁

「食貨志略」は田制と戸口から成立つてゐる。田制の部は、上古より近世に至るまでの土地制度史上の重要事項、例へば制地「耕地面の單位を指す」田籍田圖、公田私田、口分田といふやうな項面について極めて簡潔明快に説明し、處々に其の典據となつた資料の名稱を細字を以て註のやうな形式で列擧したものであつて、これを一讀すれば田制の要領を攬むと同時に、進んで委細の研究に入るべき肋洛を教へられる。戸口の部は、古來の戸口統計の外、氏族制度、戸籍、賤民等について、田制の部と同じ方法で叙述したもので、社會史的の重要問題にも觸れて居る。附録論文の「良賤の別」及び「本朝古來戸口考」は、この戸口の部に参照さるべきものである。「食貨志略」は、細川潤次郎氏撰の先生墓誌に、大學のために著すとあるから、先生が大學の教職に列せられた時のもので、恐らくは教科書やうのものであつたらう。さうして本來田制と戸口との二部に止まらず、舊典類纂と同様廣く財政經濟の諸部門に及ぶべき性質のもので、若し先生が今少し長生せられたら舊典類纂を大成した上、翻つてその提要にも似た食貨志略を完成されたかも知れない。「田制私考」は十三章に分たれ、第一章から第七章までは、太古から和銅に至る制地法の變遷を論述し、第八章乃至第十章には口分田、地子田等の事を論じ、第十一章以下以下は里制、洛陽地制等を述べてゐる。即ち前三分の二は、食貨志略田制の初の部分と同じ題目を取扱つたのであるが、かれは要點を擧げたのに引換へて、これは古文獻を援引して詳に考證してゐるか、二者を對照玩味すれば得る所が多い。里制、洛陽地制は、食貨志略には缺けてゐて、しかも土地制度の資料として重要なものである。